



6月22日に新潟地方気象台が発表した1か月予報（6月24日～7月23日）では、向こう1か月の気温は平年より高く、降水量と日照時間はほぼ平年並みの予報です。

平年同様に曇りや雨の日が多くなると予想されるため、適切な水管理と中間追肥、穂肥施用で品質・食味を確保しましょう！また、気温の高い日に農作業を行う場合はこまめに水分補給をし、熱中症に注意しましょう。

稲作技術情報

「継続的な水管理が重要!!!」

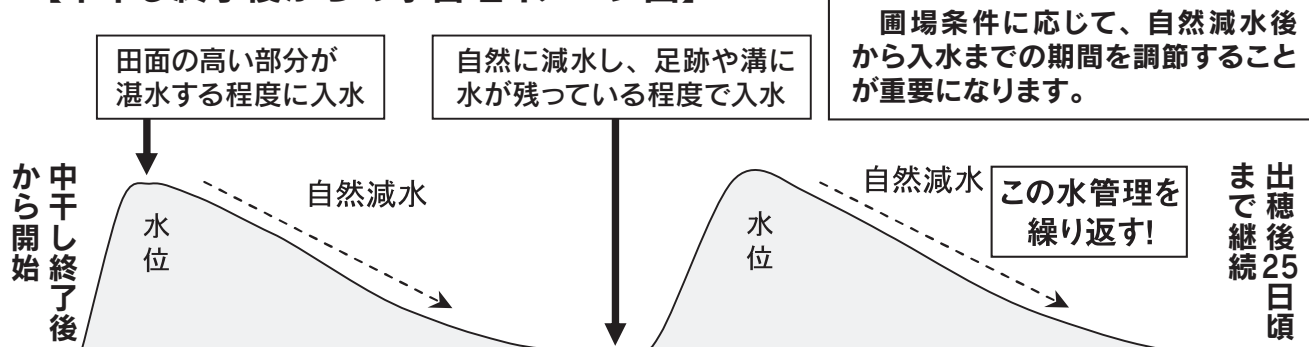
1. 中干し終了時期と水管理

7月に入ると幼穂の形成が始まります。中干しが幼穂の形成時期まで行われると根域が縮小し、高温年では整粒歩合が低下します。右記の表を参考に出穂期予想をし、**出穂期の1カ月前**を目安に水尻を閉め、入水を再開しましょう。

【過去2年の移植期間別の平均出穂日】

移植期間	R4	R3
5/10～5/15	8月5日	8月2日
5/16～5/20	8月7日	8月4日
5/21～5/31	8月11日	8月9日

【中干し終了後からの水管理イメージ図】



水は大切な資源です!かけ流し等を行わず、水を有効的に活用しましょう!

「2回目時期に重点を置いた穂肥施用の徹底」

1. 穂肥の主な効果

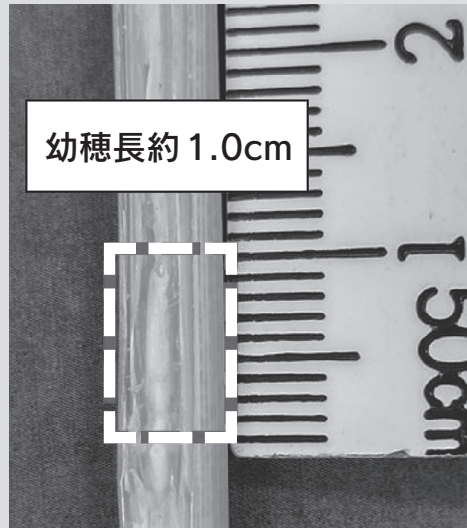
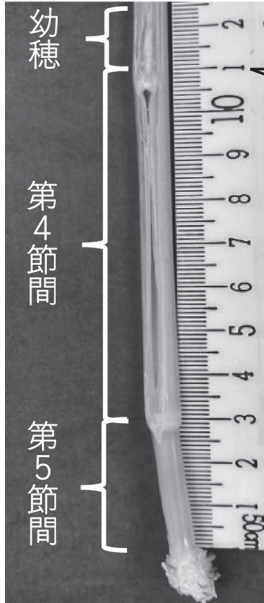
穂肥時期	1回目時期(出穂18日前後)	2回目時期(出穂10日前頃)
効果	籾数の確保	籾の充実度向上
注意点	施用時期や量が適正でないと、下位節間の伸長による倒伏や籾数過多を助長する	過剰施用だと玄米タンパク質含有率が高くなり食味低下につながる

今年度も穂肥指導会を開催します!詳細につきましては、4～5ページをご確認ください。

2. 穂肥時期別の施用時期判断と施用量の目安

～ 1回目穂肥時期～

出穂期 18日前後（幼穂長 1.0～2.0cm）



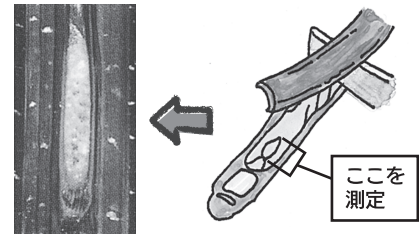
1回目穂肥時期の生育量によって、穂肥の施用量などが変わります。

幼穂長や生育は圃場間差があるため、圃場ごとに確認し2回目穂肥が確実に施用できるよう、適正な穂肥を実施しましょう！

写真：R4営農指導課撮影

幼穂の確認方法

- 圃場の平均的な生育の株から、最も長い茎を根っこから採取する。（3～5か所から採取）
- カッターで茎を割るか、手でむいて幼穂を確認する。



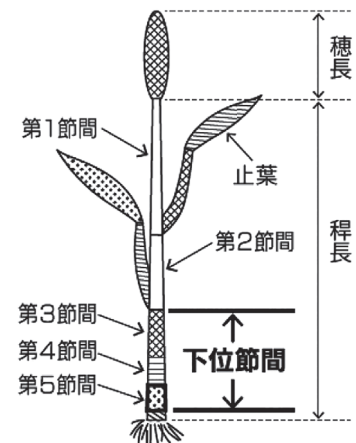
【幼穂の長さとお穂前日数】

幼穂長	0.02 cm	0.1 cm	0.2～0.4 cm	0.5～1.0 cm	4.0～6.0 cm	8.0 cm
出穂前日数	30日前	24日前	20日前	18日前	12日前	10日前

【幼穂確認時に「下位節間長」も確認しましょう！】

幼穂確認時に、倒伏との関連が高い下位節間長を確認してみましょう。第5節間が大きく伸びている場合は、倒伏リスクが高くなるため、穂肥の時期を遅らせたり、減肥等の調整をしましょう！

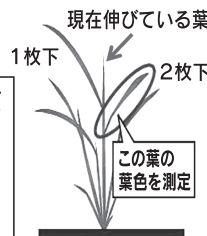
節間	節間長の目安	R2	R3	伸長時期
第5節間	3cm	4.9cm	4.1cm	出穂前29～20日
第4節間	9cm	11.5cm	9.2cm	出穂前23～13日



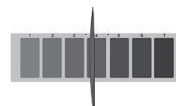
【出穂後の稲体のイメージ図】

葉色の測定方法

- 平均的な生育の株で最も長い茎を選ぶ
- その茎の中で、現在伸びている葉の2枚下の葉を選ぶ。
- 5～10株程度を測定し平均する。



葉色カラースケール



単葉測定の場合は、群落測定より0.8程度濃く見える

葉緑素計「SPAD-502」

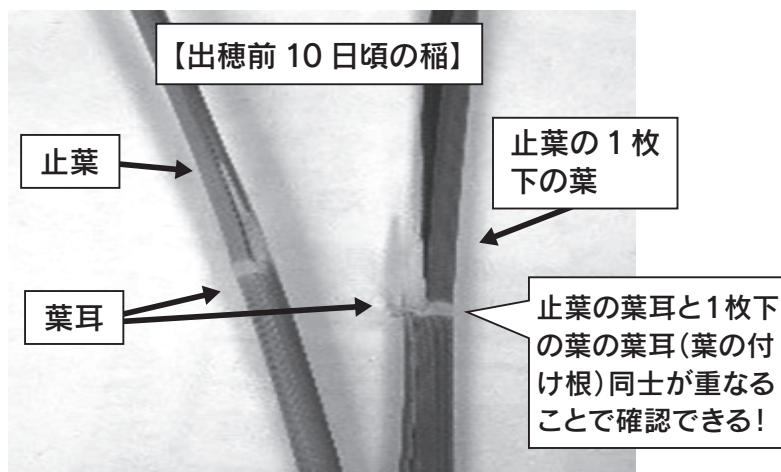
葉の色が一番近い葉色板の数値を読む。
中間の数値は0.5単位まで（4に近ければ4.0、3と4の間の場合3.5）



SPAD502
葉の真ん中のスジを避け、葉の長さの2/3くらいの箇所を測る。

～2回目穂肥時期～

出穂期 10 日前（葉耳間長 0 cm、幼穂長 8.0 cm 程度）



2回目穂肥は、登熟向上と後期栄養確保の観点から確実に施用しましょう。

基肥－発肥料で出穂期までにSPAD値で32以下になる恐れがある圃場では、2回目穂肥の時期に窒素成分で1～1.5kg/10aを目安に施用してください。

【コシヒカリ施用時期と施用量の目安表】 診断時期：幼穂長1.0cm(出穂前18日)

草丈	葉色	10a 当たり施用窒素量目安 (出穂前日数)	
75cm 以下 ➡	薄い	群落2.5、単葉3.5 SPAD30以下	1回目 1.5kg (18日前) 2回目 1.0～1.5kg (10日前)
	並み	群落2.5～3.5、単葉3.5～4.5 SPAD30～34	1回目 1.0～1.5kg (18～15日前) 2回目 1.0～1.5kg (10日前)
	濃い	群落3.5、単葉4.5 SPAD35以上	1回目 0～1.0kg (15日前) 2回目 1.0～1.5kg (10日前)
80cm 程度 ➡	薄い	群落2.5、単葉3.5 SPAD30以下	1回目 0.5～1.0kg (18日前) 2回目 1.0～1.5kg (10日前)
	並み	群落2.5～3.5、単葉3.5～4.5 SPAD30～34	1回目 0.5～1.0kg (15日前) 2回目 1.0～1.5kg (10日前)
	濃い	群落3.5、単葉4.5 SPAD35以上	1回目 施用しない 2回目 1.0～1.5kg (10日前)
85cm 以上 ➡	薄い	群落2.5、単葉3.5 SPAD30以下	1回目 0.5～1.0kg (18日前) 2回目 0.5～1.0kg (10日前)
	並み	群落2.5～3.5、単葉3.5～4.5 SPAD30～34	1回目 0～1.0kg (15日前) 2回目 0.5～1.0kg (10日前)
	濃い	群落3.5、単葉4.5 SPAD35以上	1回目 施用しない 2回目 0.5～1.0kg (10日前)

- 出穂期までに SPAD 値で 32 以下になる恐れがある場合は、緊急的に 3 回目の穂肥（出穂期 3 日前に硫酸 5 kg/10a）施用を検討してください。

～肥料成分量の計算～

①肥料1袋（20kg）で、窒素（N）12%の窒素成分量
 $[20\text{kg}] \times [12\%] \div 100 = \text{窒素成分量} 2.4\text{kg}$

肥料【 kg】 × 成分%【 %】 ÷ 100 = 成分量 kg

②窒素成分量1.5kgを施肥する時、窒素（N）12%の肥料の量
 $[1.5\text{kg}] \div [12\%] \times 100 = \text{肥料} 12.5\text{kg}$

成分量【 kg】 ÷ 成分%【 %】 × 100 = 肥料量 kg

※穂肥1回あたりの窒素成分量は 1～1.5kg/10a が目安です。

基本技術の励行による丈夫な稲づくり!

多くの方よりご参加をお待ちしております!

穂肥指導会のご案内

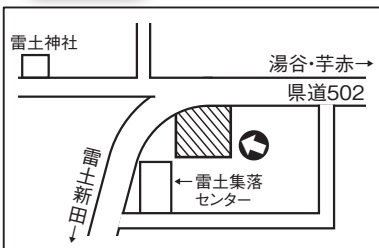
基本技術の励行による品質・収量の高位安定化!

「2回目時期に重点を置いた穂肥施用の徹底」

開催日程表《大和会場》

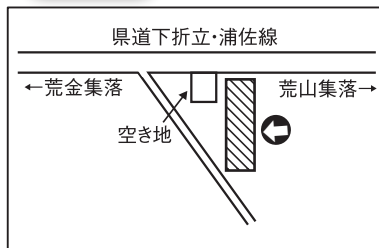
東地区

《雷土》



開催日時
7月18日(火)
夕方 18時30分~

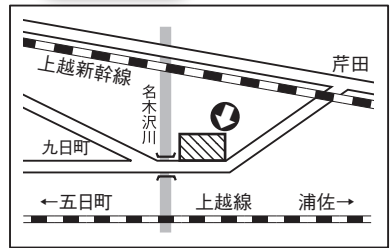
《桐沢》



開催日時
7月18日(火)
夕方 18時30分~

藪神地区

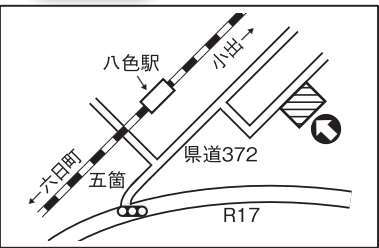
《九日町》



開催日時
7月19日(水)
朝 6時~

浦佐地区

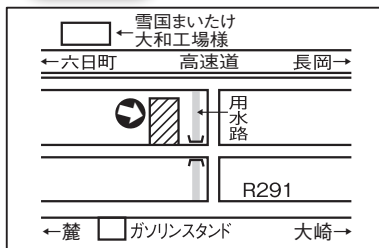
《五箇》



開催日時
7月19日(水)
朝 6時~

大崎地区

《水尾》



開催日時
7月18日(火)
夕方 18時30分~



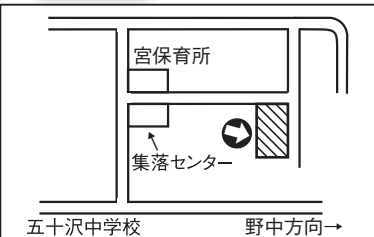
お問い合わせ：JAみなみ魚沼営農指導課

(アグリセンター大和：Tel777-3786 しおざわ基幹センター：Tel782-1171)

開催日程表《六日町会場》

五十沢地区

《宮》



五十沢中学校 野中方向→

開催日時 **7月14日(金)**
坊 18時30分~

城内地区

《新堀》

会場が
変わりました

新会場



上原保育園 稲荷大明神
旧会場 城内小学校
下諏訪神社

開催日時 **7月14日(金)**
坊 18時30分~

六日町地区

《欠ノ上》



←余川 欠ノ上→
六日町 I.C.

開催日時 **7月19日(水)**
朝 6時~

大巻地区

《青木新田》



上越線 城巻橋
青木新田 お食事 城山本店様

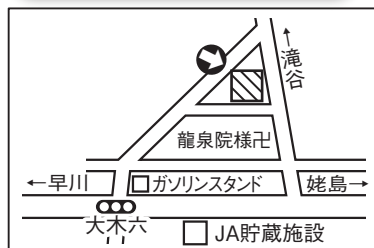
開催日時 **7月14日(金)**
坊 18時30分~



開催日程表《塩沢・湯沢会場》

塩沢地区

《しおざわカントリー》



滝谷 龍泉院様
←早川 ガソリンスタンド 姥島→
大木六 JA貯蔵施設

開催日時 **7月15日(土)**
朝 7時30分~

天野沢

《天野沢》



関越自動車道
どさん子様 中 R17

開催日時 **7月14日(金)**
坊 18時30分~

湯沢地区

《神立》



湯沢学園
R17 JAみなみ魚沼 湯沢支店

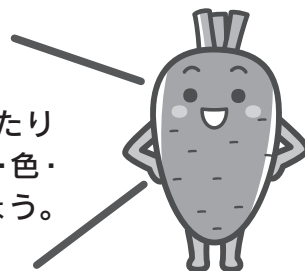
開催日時 **7月18日(火)**
坊 18時00分~

園芸技術情報

☆ニンジン (年内収穫)

1. 播種時期

7月上旬～中旬までに播種しましょう。生育初期は高温乾燥期に当たりますが、比較的作りやすい安定した作型です。品種は耐暑・耐病性で形状・色・肥大性にすぐれたものや、耐寒性があり在園性のあるものを選びましょう。



2. 主な品種と特性

品種	収穫日数目安(播種から)	根重(g)	根形	根色	根長(cm)	耐病性
向陽二号	110日前後	200	やや肩張り円筒形	鮮紅	18	強
ひとみ五寸				濃紅橙		
交配黒田五寸		250	肩張り円筒形	濃鮮紅		

3. 施肥例

(kg/10㎡)

肥料名	元肥量	追肥料		備考
		1回目	2回目	
粒状苦土炭カル	2.0			追肥は間引き終了後に行う。
苦土重焼燐	0.5			
MMB 燐加安	1.2			
NK 化成		0.2	0.2	

4. 播種

- 条播の場合…畝幅75～80cm、株間1cm(ペレット種子は3cm)、条間25～30cmの2条蒔きにする。
- 点播の場合…畝間75～80cm、株間10～12cm、1か所5粒蒔き、条間25～30cmの2列蒔きにする。
- 種の必要量…6～8ml/10㎡
- 鎮圧を良くして、覆土は薄くする。乾燥防止のため、敷きワラをすると良い。特に、播種後から発芽までは乾燥厳禁。

ニンジン栽培では、間引きと除草が重要なポイントとなります！

5. 間引き

- <1回目>…本葉2～3枚です。点播は2～3本立ち、条播は3cm間隔を確保する。
- <2回目>…本葉5～6枚です。点播は1本立ち、条播は10～12cm間隔を確保する。

6. 除草

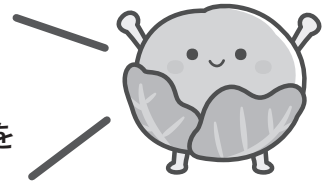
★播種後散布し、その後の作業を楽に！

(10㎡当たり)

	品名	使用時期	使用量・散布量	使用回数	使用方法
1年生雑草	クレマート乳剤	播種後発芽前 (雑草発芽前)	2～4ml/1～1.5ℓ	1回	全面土壌散布
	トレファノサイド乳剤	播種直後 (雑草発芽前)	2～3ml/1ℓ	1回	畦間土壌散布

※トレファノサイドはツユクサ科・カヤツリグサ科・キク科・アブラナ科を除く
 ※乾燥している場合は、粒剤より水和剤・乳剤の効果が高い

★キャベツ (年内収穫)



1. 播種時期

地域の環境（標高、気温など）、品種と収穫時期を考えて播種時期を決めましょう。

※湯沢地区では7/10日頃、それ以外の地区では7/15～20日頃が目安となります。

2. 主な品種と特性

品種名	草姿	定植後 収穫日数	球			耐暑性 ※耐寒性	耐病性	裂球の 早晚
			重量 (kg)	形	色			
やひこ	やや開張	約60日	1.5	扁円 五角形	光沢緑	良	良	早
やひこ A号	やや立性	約60日	1.5	扁円 五角形	光沢緑	良	良	中
越の ひかり	やや開張	約70 ～75日	1.5 ～1.8	扁平 五角形	光沢緑	優	良	中
雪みどり	やや立性	約90 ～120日	1.5	腰高 扁円形	淡緑	※特優	良	遅

※J A資材店舗在庫切れの場合は、取り寄せとなる場合もございます。ご了承ください。

3. 育苗

一般的には直播をしないで、苗を育ててから定植します。

①移植育苗	稲の育苗箱に10cm間隔ですじ蒔き。本葉1.5～2枚の時に6～9cmポット又は25穴のトレーに鉢上げする。 ★育苗日数…30～35日 ★定植時枚数…本葉3.5枚～4枚
②ポット・トレー 直播育苗	6～9cmのポリポット又は25穴のトレーに種を蒔く方法。1つに3粒程度蒔き、本葉が出たら1本立ちにする。 ★育苗日数…25～30日 ★定植時枚数…本葉3.5枚～4枚
③セルトレー 育苗	セルトレー（プラグポット）に培土をしっかりと詰め、1穴に1粒ずつ蒔く。乾燥しやすいので、こまめなかん水が必要。 ★育苗日数…20～25日程度 ★定植時枚数…本葉2.0～2.5枚
<播種後～発芽> 播種後、内部に水分が行き渡るよう十分に水をまく。その後、トレーを新聞紙で覆い、その上からさらに水をまき新聞紙を湿らせる。直射日光の当たらない場所に置き発芽させる。 播種後2～3日で発芽するため、双葉が開き始めたものが見えたら遅れのないように新聞紙を外す。 徒長させないよう注意！	
<播種後の水管理> 軟弱徒長にならないよう、水やりは早朝に行う。夜間は乾き気味になるくらいが理想です。乾きすぎるようであれば、日中に水やりを追加し夕方は行わない。	

4. その他

アオムシ・コナガの被害を防ぐため防虫ネットの利用や、根こぶ病が例年発生している圃場ではフロンサイド粉剤の土壌混和などで予防しましょう。

～ JAからのお知らせ～

資材課からのお知らせ

『令和6年度用肥料農薬申込書』での予約購買をお願いいたします

JAでは7月中旬に「令和6年度用 肥料農薬申込書」を農家組合経由で希望組合員へお届けします。

肥料情勢については、引き続き不安定な状況が継続する見通しであり、生産者の皆様への安定供給に向け「予約購買供給」は重要となっております。

皆様の営農の実態に即した予約注文をお願いいたします。

また、「令和6年度用 肥料農薬申込書」を新たにご希望の方は、各アグリセンターまでお気軽にご連絡ください。

アグリセンター大和 ☎777-2431 アグリセンター六日町 ☎773-6121
アグリセンターしおざわ ☎775-7488 アグリセンター湯沢 ☎785-5313

【水分計点検のご案内】

JAでは稲刈り前に水分計の点検を承ります。希望者は、下記により期日までに各施設に水分計をお持ち込みください。

	大和・六日町地区	塩沢・湯沢地区
持込場所	アグリセンター大和 アグリセンター六日町	しおざわ農機センター
持込期限	7月31日(月)	8月31日(木)
検査料	1,100円(税込) ※使用不可の検査結果となった場合においても検査料は発生します。	
お問い合わせ 電話番号	大和店 777-2431 六日町店 773-6121	782-0036

※メーカー・機種により点検できない場合がございます。
※新たに水分計をご注文される方は各施設にお申し込みください。

アグリルックシステム(水稲圃場情報提供サービス)の活用について!

地域農業再生協議会とJAで連携し、気象変動に左右されない高品質米生産のため、情報提供体制を構築しています。是非ご活用ください!!

【人工衛星で圃場毎に確認できる内容】

- ◆生育状況マップ◆葉色マップ◆生育トレンド(生育状況)◆最高 / 最低 / 平均気温
- ◆積算温度◆出穂期予測◆日射量◆降水量◆

《アグリルックシステムへのアクセス》

URL: <https://www.agrilook-info.jp/minamiuonuma/> ユーザID: user パスワード: user

草刈りの徹底 ～カメムシからお米を守るために～

3週間程度の間隔での草刈りによって雑草の種子が減り、カメムシの増殖が抑えられます。そのため、6月中下旬と7月中下旬に草刈りを行い、カメムシの生息密度を減らして、斑点米被害から大切なお米を守りましょう!

次号「あぜみち」予告

■稲作…2回目穂肥と病害虫対策について
※園芸は次号お休みです。

ご不明な点がございましたら、JAみなみ魚沼営農指導課
(アグリセンター大和:Tel777-3786 しおざわ基幹センター:Tel782-1171)
までお問い合わせください。